



みはら市民大学 ふれあい

第102号
発行・編集
みはら市民大学
ふれあい新聞
編集委員会

共に学び楽しむ

学長 屋敷 光

みはら市民大学へ千三百三十三名の皆さんが入学してくださりありがとうございます。

本年度は、講座数が七講座増えて、六十六コースを開設することができました。四月に講座が始まり新しいスタートを切ったところで、コロナ感染症の拡大により長期にわたって休講をせざるを得ない状況になり、学生の皆さんには大変ご心配をおかけしました。講座再開時には「楽しみに待っていましたよ」「大変でしたね」と声をかけていただき、事務局員も元気を取り戻しました。

昨年からの、感染症拡大防止のために入学式をはじめ大学祭や修了式等を行うことができず、残念な気持ちを持ち続けております。

大学祭については、三原市の感染状況に応じた計画を幾通りも立てて、今年は何とか実施したいと思っております。学生の皆様には準備期間が短く大変なご負担をおかけしますが各講座で準備をお願いします。詳細については十月の代表委員会でお知らせできるようにします。大学での学習や体験を活かして、積極的に社会参加をしてい

らっしゃる皆さんの姿が元気な三原を創り上げていると思います。お互い健康に留意しながら、今をしつかり楽しんでいきましょう。

コロナ感染防止対策

- ① 発熱等の症状があるときには、登校を控えてください。
- ② マスクの着用、咳エチケットの徹底、手洗いをこまめに行ってください。
- ③ 講座の開始時と終了時にはドアのノブに触れる機会を少なくするために、ドアを開いた状態で出入りしてください。
- ④ 部屋の出入りの際には、手の消毒を行ってください。
- ⑤ 講座を行うに当たっては、座席の間隔をできるだけ広くとり、部屋の換気を行ってください。(1時間に必ず2回以上の換気) 市民大学の教室は十分な換気ができる機器が設置されていますので、講座中はドアを閉めて受講できます。
- ⑥ 教室の使用後は消毒をお願いします。バケツ・雑巾は用意します。

大谷翔平選手

院パソコンD 眞田 貴美子

コロナ禍・環境汚染・自然災害など暗いニュースが多い昨今、大谷翔平選手の活躍に感動し心が癒されている。野球ファンであるが、あまりメジャーリーグに関心がなかった私が今はすっかりエンジェルスファン。連日の彼の活躍に心が躍る。現在、ホームラン数、打点においても活躍をしている。



前日の大リーグオールスター戦の8人のホームラン競争に登場、王座は逸したが堂々の戦いをした。彼はその参加賞金を球団スタッフに全額寄付をして感謝の意を表した。またオールスター戦では先発投手、一番指名打者として出場し勝利投手となった。野球の神様ベーブルーと匹敵される記録の数々「二刀流」プレーヤーとしての活躍はまさに歴史的な大快挙である。投手走りにわたる類い稀な才能は無論何よりも彼の謙虚で優しい人間性、笑顔の美しいハンサムな容姿は誰からも愛され尊敬されている。彼は日本人として大きな誇りである。ナイスガイである。スポーツは怪我、スランプはつきものであるが無事シーズン

今年の川柳より

院パソコンD 小松 榮子

- ① お若いと言われ、マスクを外せない
 - ② 朝起きて調子いいから医者に行く
 - ③ 十万円見ることもなく妻のもの
 - ④ 仲いいね、いいえ夫は杖代わり
 - ⑤ ベンツから乗り換えたのは車椅子
 - ⑥ うまかった、何をたべたか忘れたが
 - ⑦ 「もうやめた」検査ばかりで病気増え
 - ⑧ 納得をするまで計る血圧計
 - ⑨ 無宗教 今はすべてが神頼み
 - ⑩ 会社には来るなと上司 行けと妻
 - ⑪ 懐メロが新し過ぎて 歌えない
 - ⑫ デイサービス「お迎えです」はやめてくれ
 - ⑬ 百年も生きりや貯金に先立たれ
- コロナ禍の中、他にも沢山ありますが笑って楽しくお過ごしください。思い当るところでクスクス、ワハハ。
- 平均寿命本年度女性が八七・七四歳、男性も八一・六四歳、女性は世界一となりました。

男性は二位です。私も平均寿命過ぎまで頑張りたいです。

私の散歩道

院パソコンB 廣勢 一三

「不要、不急時の外出はしないように」と言われていますが、散歩はよいと思いい雨の日以外はカメラを持って一日2〜3km歩いていきます。写真を撮りながらの散歩ですから、時間は一時間半位かかります。

同じような写真を数枚撮る時もあり、一日数十枚になることもあります。撮った写真はパソコンに保存して、JTRIMで楽しんでおります。

長い間老人大学でパソコンを教えて頂いた講師の方や、アドバイスをくださった方々に感謝しながら楽しんでおります。健康とボケ防止のために、これからもパソコンと散歩は続けます。

蝶の花に



蜂の花に

『お早う!!』と『今晚は・・・』

院。パソコンD 末永 順三

冬の朝、名前は知らない小鳥のさえずりに、起こされる。

雨戸を開けると、海霧に包まれた小佐木島の姿が見えた。

『お早う!!』太陽君が、瀬戸内の島の頂から顔を出す。

毎日少しづつ、その位置を変えながら。晴れの日は、元気が良すぎて目に痛い。逆に雨の日は、随分と大人しい。

そんな彼には、とっておきがある。それは、雲の多い朝、東の空一面に、茜色の輝きを解き放つ時。年に何度か逢える神々しい時間に、感動を覚える。

『今晚は・・・』お月さんが、優しく声を掛けてくれる。毎日見る事は無い。昼間、空の高い所に見える事もある。新月から右受けの三日月、上弦の月を経て満月へ。少しづつ、まあるくなる様だ。でも毎日は見ない。

そんな或る日の雲のない夜。

丸い大きなお月さんが、やはり東の空にポツカリ。

『私を見て・・・』といわんばかりに。群青の水面に、オレンジ色の光一筋を、真っ直ぐこちらに届けてくれていた。

とても、幻想的な夕月だった。『お早う』と『今晚は』を、



太陽君とお月さんに・・・『有難う』を添えて。



孫と私

コーラス 信実 吟子

私には高三から小学一年生まで九人の孫がいる。広島に四人、東京に五人、そのうち七人は新生児から関わらせてもらった。

おかげで、いまだに主人と【あの頃は・・・】の会話で盛り上がる。ありがたい体験だった。

先日広島に

いる高三の男の子が、我が家に戻ってきた。受験生なのに心配したが、両親と下の三人の妹弟から束の間の自由を味わいたいかなど受け入れた。僅かの休みだったがおおきなく過ごしたようだ。

この子には特別な思い入れもある。第二子出産前、母親が母体安定のため早く入院、そのためしばらくこの子を預かった。ちょうど娘が里帰り出産のため同じ年頃の長男を連れて来たので、元氣な二才男児二人の保育をする事になった。もちろん主人と二人で・・・。

私の母が子供たちのお守をしているとき『産んで返せないからね』とよく言っていたことを思い出しながら大事に接した。



その母は当時医師会病院に入院中。二人を連れてお見舞いに母にすればひ孫のため目を細めて喜んでる表情を見せていた。帰りには近くにある新幹線高架下の公園で遊ばせ、元三原スパーのベンチまで歩かせた。ぐずりそうになると、当時流行った『歩こう!』の歌を私に元氣に【となりのトトロの歌】を歌いながら、二歳児にしては良く歩いたと思う。

夏休みになると私の子供たちが都合を合わせて帰省。その度にちよつとした弁当を作り、須波の海浜公園によく連れて行つた。狭い我が家で最高十七人過ぎたことも今では語り草だ。

時が経ち周りを見渡すと、世話好きおばあちゃんから見守られおばあちゃんに。コロナ自粛に慣れて生活も単調になっていった。我が家に戻ってきた孫の存在に、忘れていた世話焼きおばあちゃんの気持ちがあふれ、活力のみなぎる夏となった。

今日という日に感謝

院絵手紙 河知 征子

昨年五月、二人の姉が入院、一人は異動性脳腫瘍、手術もしたが月日がたつにつれ、脳からの指令がだんだんと衰え、足、手が不自由になり、家族の介護も大変で介護施設に入所、コロナウイルス感染防止の為、面会が出来ず私は大学で受講した絵手紙を、毎日送った。

喜んでくれているかどうか想像しながら、ある日、数分の面会ができ、姉の部屋には、私が送った絵手紙を貼ってもらっていました。姉と手を取り合せて泣きました。「家に帰りたい」と言われ大変こまり「先生に相談してみよう」としか言えなかつたです。

看護師さんが来られ、「お姉さん、はもちろん絵手紙を楽しみに見せてもらっています」と言われ、良かった、嬉しかった、絵手紙のお陰だと感謝でいっぱいです。

もう一人の姉は、わがままばかり、私に甘えているのかな、淋しいのかなと思う。

又、昨年十月早朝、私は体の異変に気づき救急で病院、脳梗塞と診断され、幸い早く病院にかかったため、安静と点滴治療ができました。主治医、看護師さん、理学、作業、言語の療法士さんに助けられ、後遺症も殆どなく回復、病院は、面会もできずでしたが、友人からの手紙や、電話、家族からの励ましで、一ヶ月の入院生活を終え退院できました。

これからは、無理をせず、体を労り、細く長くをモットーに今日一日を笑いと、健康を、感謝で暮らしたいと思います。



覚えていますか 水あそび 楽しかったね

新事務局長 酒井 和子

四月に着任しました。今年度もコロナ禍が続く、講座を思うように開くことができない状況の中、学生の皆さんが来校された時には気軽に声をかけてください。今まで様々なことを乗り越えてこられた人生の先輩の心強い言葉に励まされ、元氣をいただいています。

市民大学のテーマである「学んで輝き、伝えて輝く」ためのお手伝いができるよう今後、事務局員として精一杯尽力してまいります。どうぞよろしく願います。

編集後記

「笑顔は、副作用のない薬」と言われています。コロナ禍のこんな時期ですが、心の安らぎやワクワクも感じながら輝くような毎日を皆様も過ごして頂きたいと思っております。

ふれあい「新聞102号は院。パソコンDが担当しました。原稿をお寄せ下さいました皆様有難うございました。

103号は院。パソコンEが担当です。よろしく願います。

院。パソコンEが担当です。

院。パソコンEが担当です。